

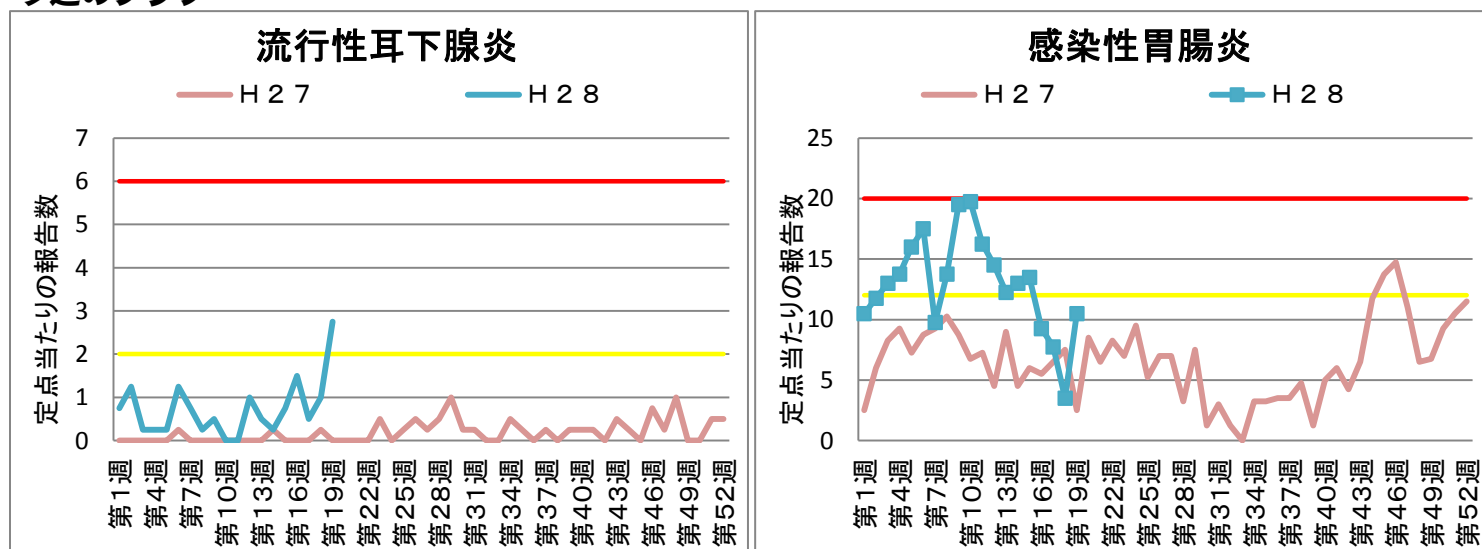
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 19 週 平成28年5月9日 ~ 平成28年5月15日

今週のコメント

第19週(5/9~5/15)では、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告数が増加しています(定点当たり2.75件)。流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症です。2~3週間の潜伏期を経て発症し、片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱を主症状とし、3~6歳の小児に多くみられます(約60%)。感染しても症状の現れない不顕性感染が30~35%あるといわれています。発症しても通常は1~2週間で軽快する疾患ですが、無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、膵炎などの合併症を起こす場合があります。効果的な予防方法は、ワクチン接種です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	百日咳	-
感染性胃腸炎	10.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	-	流行性耳下腺炎	2.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

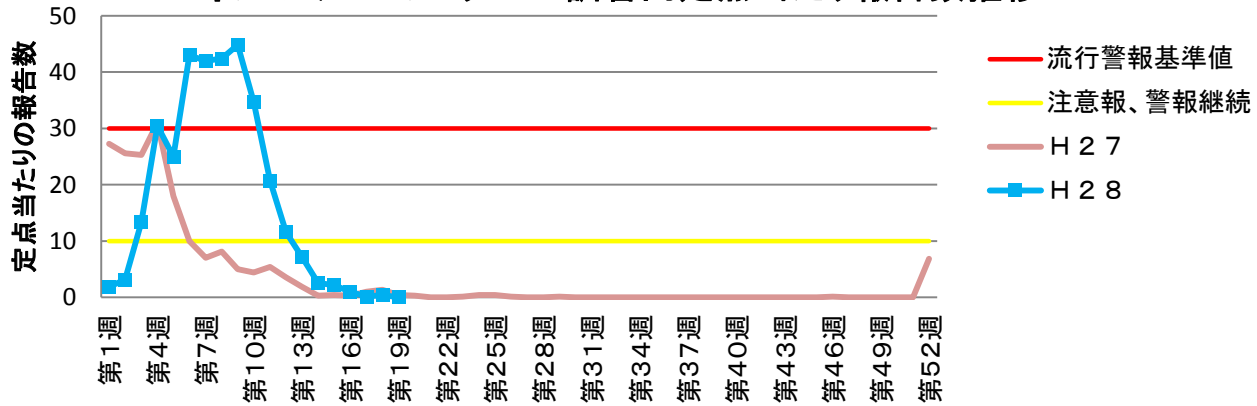
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

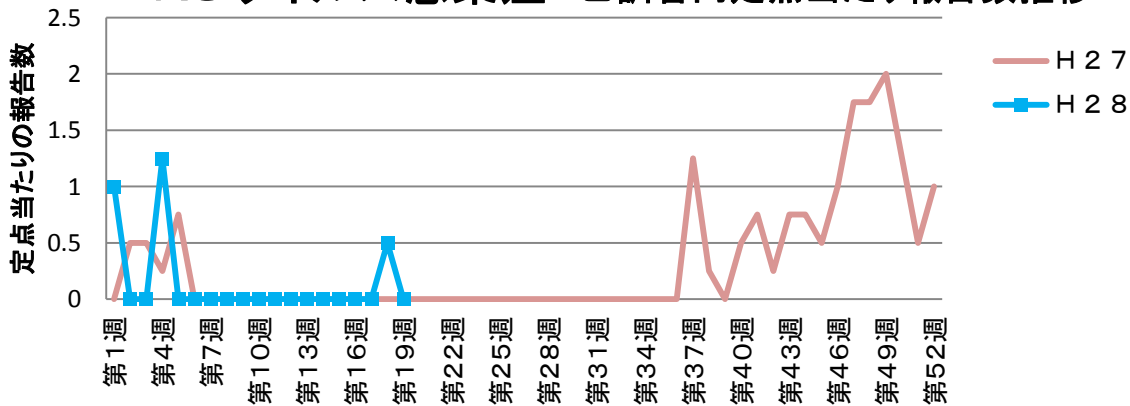
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

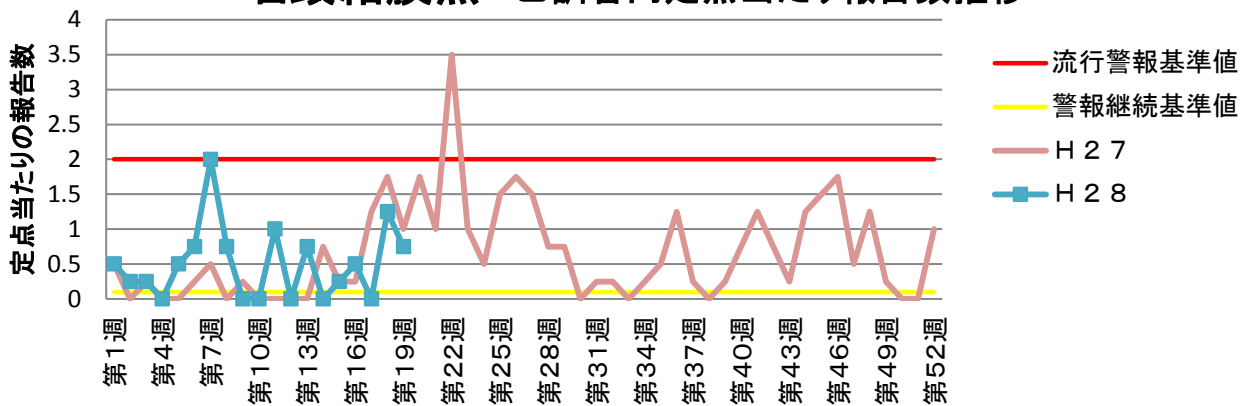
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



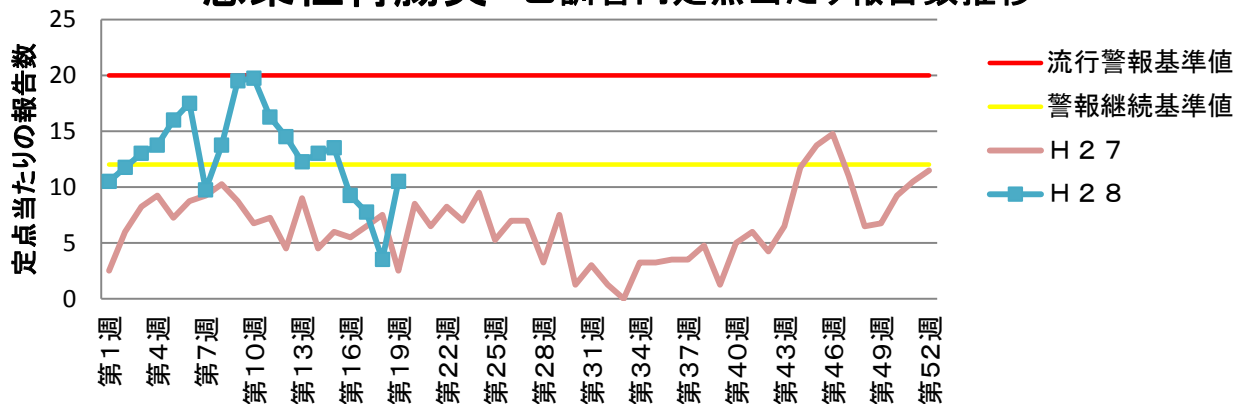
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



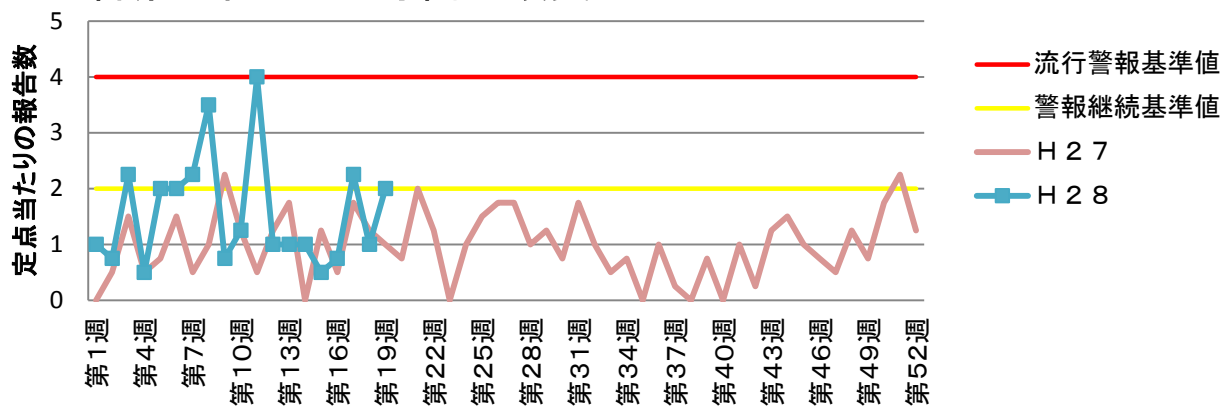
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



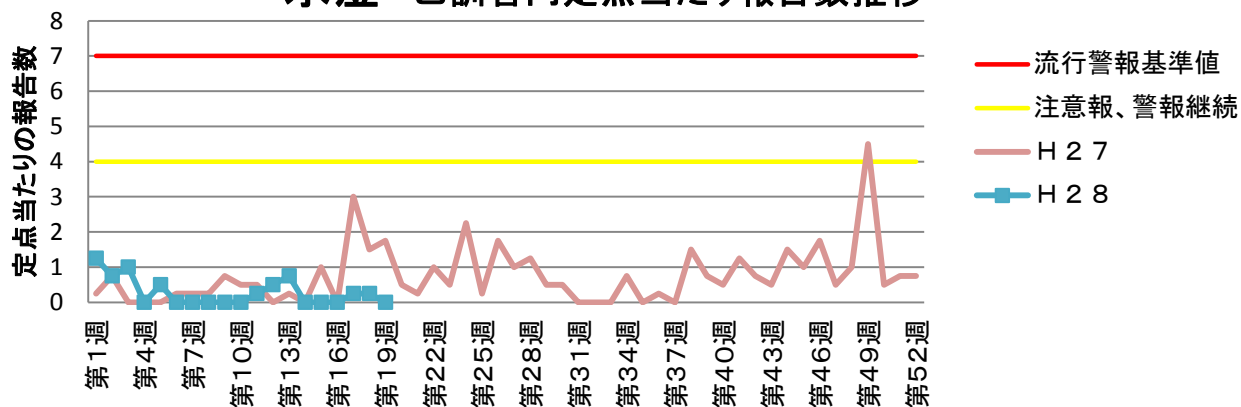
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



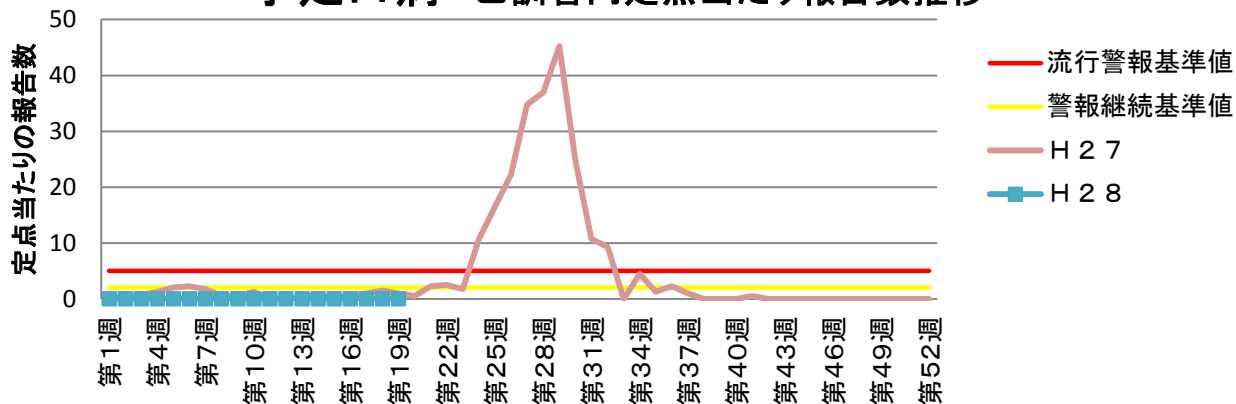
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



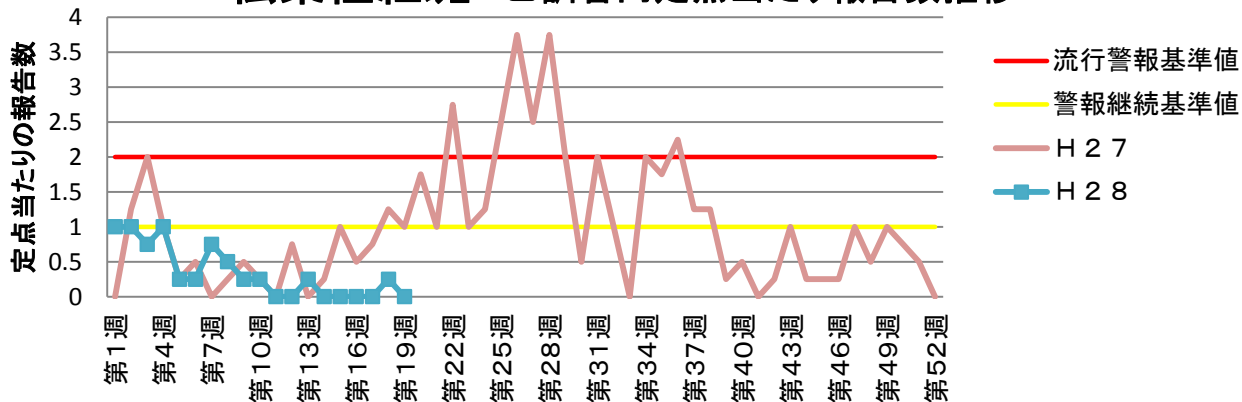
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



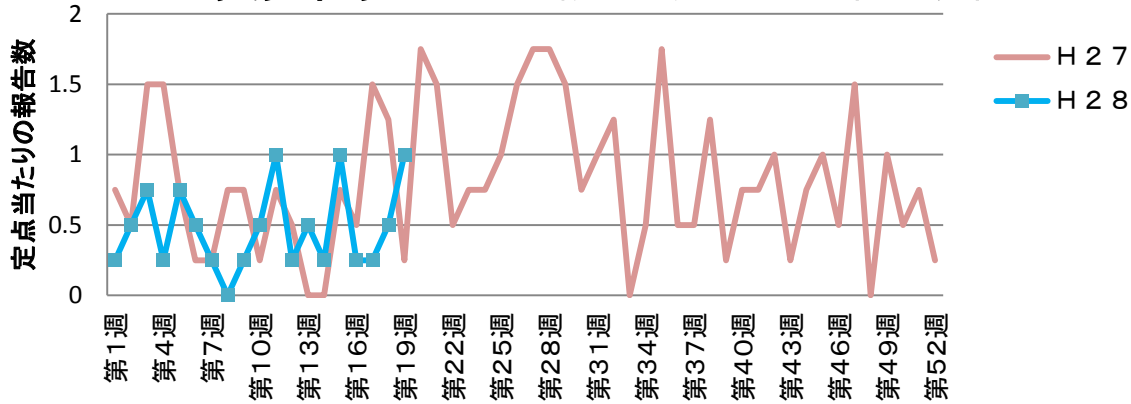
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



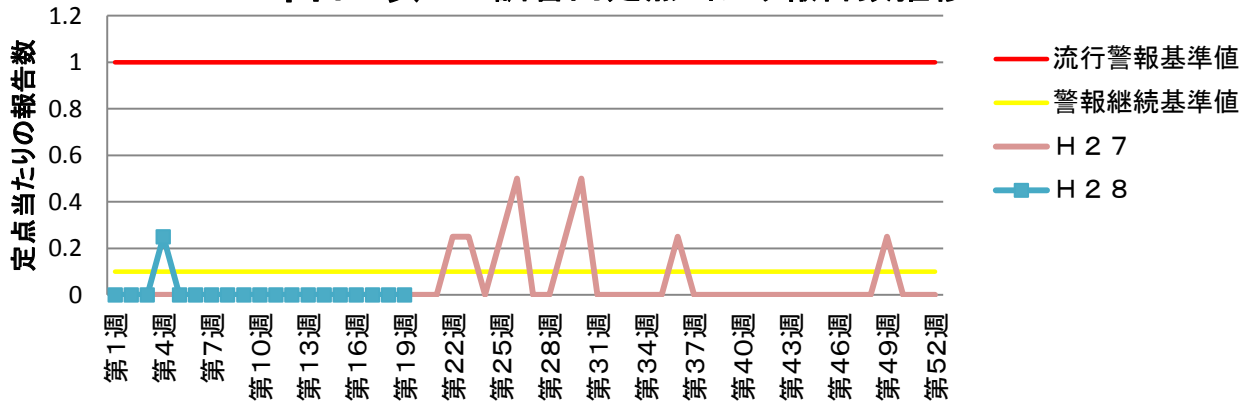
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



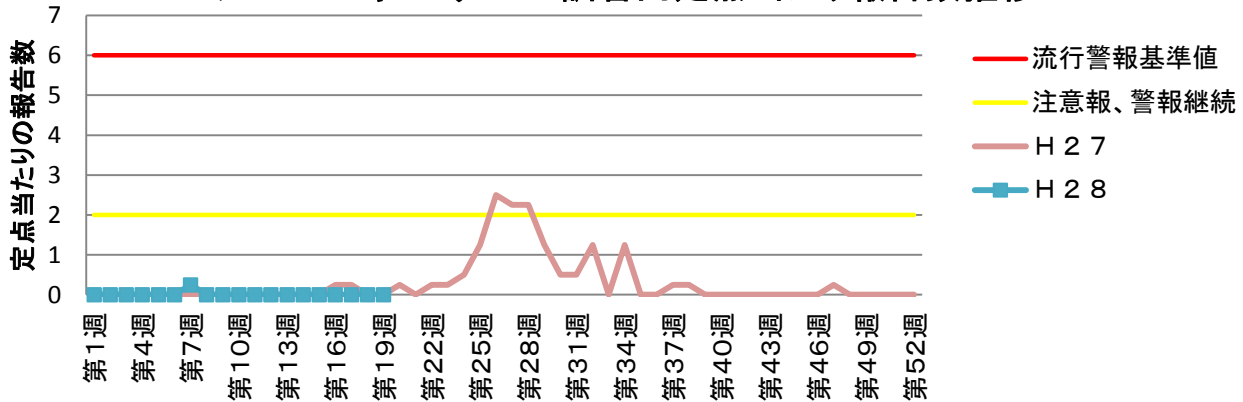
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

